

「入院診療計画書」

氏名 様

傷病名：

治療法：腹式帝王切開術（母児分離）

妊娠 週 日 症状：

西・東病棟 階 A・B 号室

	入院当日	手術前日	手術当日	手術中	帰室後	術後1病日	2~4病日	5・6病日	退院日
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 、 、 日	月 、 日	月 日
目標	必要な検査処置が終わり、手術に臨むことができる				痛みによる苦痛がない	痛みが落ち着き歩行ができる	術後経過が良好である		
説明・指導	入院生活について説明します。医師から病状・治療・手術について説明があります。 	手術後に必要な物を確認します。 	ご家族の待機場所をお知らせ下さい。出生届・母子手帳は、分娩当日か翌日にお渡しします。	麻酔は腰椎麻酔を行います。患者様の状態によっては、全身麻酔で手術を行う場合があります。 	ご家族に医師から手術後の説明をします。麻酔から覚めたら深呼吸しましょう。	なるべく早期に歩いた方が回復が早まります。歩行開始後は弾性ストッキングを脱いでもかまいません。 	退院までに以下の指導があります。11時から行います。沐浴指導（月or木） 月 日 退院指導（火or金） 月 日 調乳指導（水or土） 月 日	医師より病状説明・退院前指導があります。母子手帳の記入をし、診察券をお渡しします。1ヵ月健診の予約券をします。	
治療・処置	麻酔科受診をします。			背中への消毒をしてから、麻酔の注射をします。麻酔の注射が終わったら、尿管を入れます。	 酸素吸入・体温・脈拍・血圧測定をします。	診察があります。尿管を抜きます。体温・脈拍・血圧測定をします。	3日目に診察があります。傷のテープをはがします。	 6日目に退院診察と傷のチェックをします。	 退院です。
検査	胎児心拍数モニターをつけます。 			胸に心電図のシールを貼ります。腕に血圧計を巻きます。指に体の酸素を測る器械をつけます。		血液検査をします。 	3日目に血液検査をします。4日目に尿検査、体重を測定します。	6日目に血液検査をします。 	
内服・点滴	現在内服中の薬がありましたら看護師にお知らせください。		 点滴をします。			食事の状態に合わせ点滴を減らしていきます。			
食事	 褥婦食（おやつ付）必要時治療食です。	夕食後は何も食べられません。飲水は指示迄です。	うがいは出来ますが飲食は出来ません。		水分開始時間は、看護師からお話します。月 日（朝・昼・夕）から、お粥が出来ます。徐々に米飯となります。		月 日 お祝い膳が出ます。	退院後もバランスのとれた食事を心がけましょう。	
生活・行動	病棟内を自由に歩かかまいません。 		主治医、看護師と手術室へ向かいます。	手術する部屋へ移動し、看護師の介助で手術台へ移動します。	 手術室から病室へ戻ります。ベッド上安静です。	できる範囲で歩きましょう。	NICUでの赤ちゃんへの面会は14時から19時迄です。 		
清潔	 シャワーが浴びられます。		病衣に着替えます。リストバンド・キャップをつけます。血栓予防のために弾性ストッキングをはきます。	手術の準備のため病衣を脱いでいただきます。	ナフキンの交換、傷の観察をします。	シャワーが浴びられるまで毎日体を拭きます。	傷の状態により、シャワーが浴びられます。ナフキン交換は、まめに行い清潔にしましょう。 		
乳房ケア	乳頭をきれいにしましょう。 					乳汁分泌促進のため、積極的に乳房マッサージをしましょう。搾乳や冷凍母乳の管理についてお話します。 	退院後のケアの仕方についてお話します。		
その他	院内禁煙となっております。部屋での携帯電話の使用はご遠慮下さい。		付き添いは、必要ありません。	赤ちゃんの状態が安定していれば、手術室で赤ちゃんとの面会ができます。	状態により赤ちゃんとの面会ができます。	体調が悪い時は、お申し出下さい。 			何かありましたら病院にお電話下さい。

特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

在宅復帰支援計画 無 ・ 有 ( )

総合的な機能評価 無 ・ 有 ( )

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに当たって変わることがあります。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

注) 原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。



- 0=全く痛みがなくとても幸せ
- 1=ちょっとだけ痛い
- 2=それよりももう少し痛い
- 3=もっと痛い
- 4=かなり痛い
- 5=必ずなくほどではないが、想像できる最も強い痛み

年 月 日

医師名

担当以外の担当者

在宅復帰支援担当者

本人・家族署名

岩手医科大学附属病院産婦人科病棟